

<報道関係者各位>

## 室伏広治を20年間支えたシューズについて

ミズノトラッククラブの室伏広治が6月7日（土）に行われる、日本陸上競技選手権大会の男子ハンマー競技で20連覇を目指します。

20年間以上フィールドで戦い続けている室伏ですが、彼が着用しているスローイングシューズもまた、同じ形状で彼の足を支え続けています。彼の挑戦を支えたシューズ、そしてそのシューズを作り続けている職人の思いをご確認下さい。



室伏広治選手が長年使用しているスローイングシューズ

## □室伏広治選手シューズの特長

- ・ソールラウンドは丸めの形状

スローイングシューズのソール形状には、少し角があるフラットソールと丸型のラウンドソールがありますが、彼のシューズではスムーズな体重移動に合わせてアウトソールが点で地面に接地する丸型のラウンドソールを使用しています。

- ・柔軟性、ホールド性に優れたアッパー部分

強度の高い三軸織物の素材、そして軽量性と耐久性に優れたカンガルー革とより柔軟性に特長のある人工皮革を使用しています。また、シューレースには防爆シートにも使用される非常に丈夫な素材「ダイニーマ」を使用し、ホールド性に優れています。

## □室伏のシューズを作製している人物について

- ・シューズクラフトマン 宮本義和（ミズノテクニクス株式会社 山崎ランバード工場）

室伏が着用してきたシューズ全ての、吊り込み作業を手掛けてきた職人です。

「室伏選手はアスリートとしても人間としても素晴らしい人格の持ち主です。アテネオリンピックで金メダルを獲得した際に彼が言ってくれた『私を支えてくれるミズノには最強のスタッフがいます』という言葉は一生忘れません。またレベルが上がるたびにシューズに対しての要望もとてもシビアになり、ちょっとしたソール加工の違いでも本人の納得がいかない場合がありました。その要望に私も応えるべく、何度も何度もソールを作り直したこともありました」

- ・シューズ開発担当・岸本諭（ミズノ株式会社 グローバルフットウエアプロダクト本部）

雨が多い都市ロンドンで開催されたオリンピック時、雨で濡れたハンマーサークル内でも万全な状態で戦えるようにと、雨用のハンマー投げシューズの開発に携わりました。

「雨用の開発は初めてであったので、始めは何から手をつけて良いか分からなかったのですが、室伏選手の動作データを見ていきながら少しずつ状態を把握していきました。そして最終的には満足のいく雨用のシューズをつくることが出来ました。金メダリストのシューズ開発という事でプレッシャーはありましたが、開発者としての大きなやりがいを感じる事が出来ました」

（お問合せ先）

東京広報課 木水・田村 TEL 03-3233-7037

大阪広報課 薬師寺・木村 TEL 06-6614-8373